

三陸木材は「乾燥」技術の向上に取り組んでいます！

現在、三陸木材高次加工協同組合（以下「三陸木材」）は、中川理事長や泉田副支配人のリーダーシップの下、種々の改善に取り組んでいます。

大船渡地方振興局は、林業技術センターの協力の下、技術的な改善について、積極的に後方支援を行っています。

三陸木材が掲げる技術的な改善項目には、「乾燥ラミナにおける仕上がり含水率のバラツキの抑制」があります。バラツキの抑制は、品質（接着、強度）の安定と、歩止まりの向上に直結する重要事項です。

三陸木材では、まず、含水率計の補正表の作成（含水率計の値を全乾法の値に近づける）に取り掛かりました（写真1）。

次に、乾燥中の含水率の測定頻度を増加させ、より詳細に含水率管理を行える体制を整えました。

11月18日には組合内で「乾燥勉強会」を開催し、工場長、乾燥及び品質管理担当者が、乾燥実績、問題点、今後の取組み等について話し合いました（写真2）。

含水率のバラツキを目標値まで抑制するには、高い技術と長い時間が必要ですが、今後も積極的に支援を行う予定です。



写真1 含水率計の補正用試験



写真2 乾燥勉強会の様子